

# THE Y'S MEN'S CLUB OF NASU NETWORK NASU

CHARTERED 1995



2016~2017年度 No.212

## 9月 月報

那須クラブ会長 主題  
拓こう 築こう ワイズの世界

強調月間：ユース

那須ワイズメンズク



8月(納涼)例会 8月25日(金) 於：原田時近ワイズ宅

2017~2018年度 主題  
国際会長：(IP) Henry J Grindheim (ノールウェイ)  
「ともに、光の中を歩もう」  
アジア地域会長：(AP) Tung Ming Hsiao(台湾)  
「ワイズ運動を尊重しよう」  
東日本区理事：(RD) 栗本 治郎(熱海)  
「広げよう ワイズの仲間」  
北東部長：鈴木 伊知郎(宇都宮東)  
「距離に負けるな北東部、各クラブの個性を磨きましょう」

クラブ役員 事務局  
会長：田村 修也  
副会長：村田 榮  
河野 順子  
書記：内海 研治  
会計：村田・鈴木  
担当主事：内海 研治  
ブリテン：田村・村田

8月例会データ(出席率：83.3%)  
在籍者 6名  
例会出席者 5名 メネット 3名  
ゲスト 2名

今月の聖句  
傷ついた葦を折ることなく、暗くなっていく灯火を消すことなく、裁きを導き出し、確かなものとする。

イザヤ42：3

9月 Happy Birthday

なし

## 巻 頭 言

### 8月の失敗談

副会長 村田 榮

今年の夏は天候不順でした。晴れた日が少なく、蒸し暑い日が多かったです。そのため、日照不足で畑の作物は不順でした。雨が多かったために草だけは大きく成長しました。草が伸びるとまた野菜類ができないと嘆く日々でした。毎日が悶々としていました。

7月入ってからのメール等の連絡の最後には「体調管理にご留意ください」とか「熱中症にご注意ください」と書いていました。自分には関係ないが、テレビ・新聞で毎日のように熱中症で亡くなった方・病院にかかった方の報道があり、一般的な注意事項として皆さんに喚起を促すために書いていました。私自身は、いつも体調管理に注意をしながら十分な水分補給をしているつもりでいました。

少し時系列でまとめてみたいと思います。8月中旬に入り、雨は夜のうちに降り、昼間は太陽が顔を出さなくて蒸し暑い日が続きました。そうかと思うと20度に届かないで寒い日があつたりの天候でした。

21日(月)夜雨が降ったが朝から久しぶりの晴れ、草取りをすることにした。雨露に濡れないようにするために合羽を着て草取りをする。半日草取りをずっとしている服がびしょり濡れた。久しぶりの仕事で、すごい汗をかいて清々しい気分でした。22日(火)・23日(水)夜に雨が降り曇り空、先日と同様に合羽を着て草取りを行う。夜寝ている時に足にこむら返りが起きる。十分な水分補給をしていた。こむら返りは少し疲れた時に今までも起きていたので、少し頑張りすぎたかなと思っていた。24日(木)夜雨が降り曇りの蒸し暑い日、あと少しの草取りで終わるので少し頑張って草取りを行う。2時間ぐらいで草取りが終わる。近所の方が訪ねて来られて、すごい汗にびっくりされ、「生ジョキ」がほしい気分でしょうと話された。この日の仕事は終えシャワーを浴び昼食後少し休む。午後2時ごろに目がさめ起きようとするすると天井が回るまわる、気分が悪くなりトイレに駆け込む。その繰り返しを1時間ほどし、メネットが心配になりかかりつけの病院に行き点滴をしていただく。少し落ち着くが夕食も取らないで休む。寝ていると少しは良いようだ。目を開けるとまだ天井が回る。翌日からは気分が悪くなりトイレに行くことはなくなる。毎日病院で点滴を5日間受けた。29日(火)まだ少し頭の中ではグルグルと回っているような気分。まっすぐに歩けない、少し足を開いた感じで歩く。30日(水)病院の紹介状をもらい、脳神経外科でMRIを取ってもらう。脳

には異常がないとの診断で少しは落ち着く。この日より350の缶ビールを1本飲む。9月に入ってからやっと野良仕事ができた。

今後は自分の年齢を考えて、無理をしないで十分な睡眠と休息と水分(塩分)補給をとるように注意をすることにした。皆さんもご注意ください。

## 8月(納涼)例会

担当主事 内海 研治

日時：8月25日(金) 18:30~21:00

場所：原田時近ワイズ宅

参加者：田村会長、河野副会長、村田副会長・会計、内海書記・担当主事、メネット：田村、原田、村田  
ゲスト：赤坂英昭、菊池創 合計：10名

毎年恒例の8月納涼例会は、原田メンのご自宅を開放していただき行いました。今回ゲストとして、アジア学院元副校長の菊地さん、聖園老人ホーム施設長の赤坂さんがいらしてくださいました。

開会点鐘の後、原田メンの聖書拝読・祈禱で始まりました(ローマ15章13節)。田村会長の挨拶では、



「戦後72年目の8月」として、平和の実現に向けてのお話がありました。そして原田メネットによる食前の祈りの後、メン・メネット、そしてゲストの方々が持ち寄ってくださった豪華な料理を美味しくいただきました。田村メネット特製の豆腐サラダと合わせた素麺は、夏にぴったりと好評でありました。食事の後は、田村会長による演奏に合わせてソング・ゲームタイムとなりました。「通りゃんせ」「かごめかごめ」「あんたがたどこさ」「ずいずいずっころばし」「アンパンマンのマーチ」「茶つみ」を皆で歌いました。また、「八百屋のお店」と「花いちもんめ」のゲームを参加者全員で行い、楽しい時間を共有することができました。そして、納涼例会最後のプログラムは、オークション大会です。野菜や高級素麺、洗剤などの生活雑貨、YMCAオリジナルTシャツなど、たくさんの出品がありました。河野副会長の音頭のもと、「100円!」「150円!」と声が飛び交っていました。オークションで得た益金10,000円は九州北部豪雨支援募金としてワイズ東日本区に寄付させていただきます。今回、学生リーダーの参加がなく残念ではありましたが、また賑やかな時をリーダーとワイズのメンバーで迎えられるよう活動していきたいと思います。皆様のご参加、

そして食事等の準備など様々なご協力・ご支援頂きありがとうございました。

## 今後の予定

### ・ 9月（第1）例会

日時：9月22日（金）午後2時30分～

場所：遠山宗定師匠茶室「清雪庵」

住所：那須塩原市二区町369

TEL：0287-36-4363

内容：茶道体験

会費：1,000円

### ・ 北東部会（宇都宮東クラブ25周年）

日時：9月9日（土）13:00～18:00

場所：宇都宮グランドホテル

会費：6,000円

### ・ 10月役員会（第2例会）

日時：10月6日（金）午後6時30分～

場所：ココス西那須野乃木店

内容：10月（アジア学院バザー）例会、11月例会（植樹例会）、10月号ブリテンの発行等。

## 9月第2例会（役員会）報告

日時：9月1日（金）18:30～

場所：ココス西那須野乃木店

出席者：田村会長、河野副会長、村田副会長、内海書記、田村メネット

協議事項

### 1. 8月（納涼）例会の反省について

お二人のゲストを迎えてよい会が実施できた。ユースリーダーの参加がなかったのは少し残念である。オークションでの売上金の一部、10,000円を東日本区九州北部豪雨支援として献金する。

### 2. 北東部会・宇都宮東クラブ25周年記念例会について

9月9日（土）午後1時より、宇都宮グランドホテルにて開催。当クラブより、田村会長、原田メン・メネット、村田の4名が参加。当クラブより宇都宮東クラブへのお祝金10,000円。

### 3. 9月（第1）例会について

9月22日（金）の午後2時30分から遠山師宅で行う。会費は1,000円。講師謝礼は5,000円。その他材料費。

### 4. 10月第2例会（役員会）について

10月6日（金）午後6時30分よりココス西那須野乃木店にて開催する。

協議内容は10月例会、11月例会、ブリテンの原稿、その他

### 5. その他

・とちぎYMCA40周年記念し資料について  
チャーター当時の資料を河野メン、鈴木メンで探していただく。ロースターの確認は、とちぎYMCA。

・沖縄YMCA55年史出版募金に3,000円の献金をする。

・シイタケ昆布を購入する。

・アジア学院収穫感謝祭、10月14日・15日

## 旧西那須野（那須西原）の緑と水（54回）

田村修也

前記の歎願書の提出に先立って、印南さんと矢板さんは、1月17日にお二人相携えて上京し、内務、大蔵、農商務等諸省庁の間を陳情懇願に奔走して、必死の努力を致しました。しかしながら、山田顕義参議兼司法卿は、先に那須野が原に来て、飲用水路の工事現場を視察して、十分に理解がある筈にも拘わらず、この歎願に対して、賛成をしていないと言う情報を耳にしたのでした。当時の政府は、太政大臣を長とする太政官が最高官庁であり、重要な案件はここで参議11人の会議によって議決されました。印南さん、矢板さんは大いにこれを心配しました。そして、何とかしてこれを口説き落とさなければならぬと相談して、早速車を山田内務卿の私邸に飛ばしました。ところが、公事多用で、面会相ならんと門前払いをくってしまいました。やむを得ないので引き返し、翌日は早朝に行つてまた面会を乞いますと、来客あり面会不能と断られてしまいました。その翌日は、朝食も取らないで駆け付けましたが、また会ってくれない。それでも挫けないで、一里余りの道を通うこと7日に及んで、漸く面会を許されました。そこで印南さんと矢板さんは、現地の実情を詳細に具陳して、条理を尽くして熱誠を傾けて、懇願したところ、流石は山田卿、わかれば早い。よし承知したと決済してくれました。そこで山田顕義に代わった山県有朋、農商務卿松方正義は、次の内申書を以つて太政官の三条実美に許可を求めました。

那須原野疏水ノ儀ニ付上申

栃木県下、那須原野疏水ノ儀ニ付、曩に、農商務省ヨリ上シ申、目下詮議及バシ難キ旨、御指令相成タル処、猶又、此程該県令ヨリ、別紙ノ通り、再申ニ付、疏水竣工ノ上、開墾ス可キ田園反別并ニ、収穫ノ見込等、



調査セシメ候処、水田反別凡八千六百余町歩、此收穫米凡八万六千石、其他、陸田樹木等ヨリ得ル処ノ利益モ、亦鮮少ナラザルノ見込ナリ、然シテ此度該水量、該反別一円ヲ灌漑スルヤ否ヤハ、通水後、実地用水量ノ試験ヲ経ザレバ予メ定メ難ク候得共、他ノ実験ニ拠レバ、別紙那珂川水量一秒二百五十個、蛇尾川同一秒百個、合一秒三百五十個ノ水量アレバ、数千町歩ヲ灌漑スルハ疑ヲ容レズ、然レバ其得ル処ノ利益大ナレバ、随テ之レニ充ル費用モ。亦巨額ニシテ、特ニ疏水ノ為ニ要スル所ノ概額、拾四万円余ニ及、別ニ各開墾社ニ於テハ、目下、開墾移住ノ費用数万円ヲ要スル折柄、到底民力ノ弁ズル能ハザル所ナルヲ以テ、官行を仰グモノトス、因テ按ズルニ、本件ノ主眼タル疏水工事は嘗テ農商務省ニ於テ測量ヲ遂ゲ、其目的確立シ、且別紙県令上申中ニ有之、有志者試験工事モ、意外ニ相運、岩質等モ隧道其外ニ必適シ、開墾ノ事業モ、成功期シ難キ他ノ事業ト異ナリ、実着ノモノナレバ、実ニ国家ノ利スル鴻益ノ事業ト信認ス。加之、開墾各社ヲ始メ、昨年中国道ヲ該原野へ貫通セシヨリ、従来ノ宿駅、漸次移転スルモノ、皆専ヲ水利ヲ目的ニ、希望ヲ属シ、有志人民試験工事モ、満足ノ結果ヲ得、県令並ニ疏水掛ニ於テモ、多少ノ辛勞を費シ、漸ク茲ニ至リタル儀ナレバ之ヲ水泡ニ帰スルハ遺憾ニ不堪。且ツ、成功ノ上ハ、容易ナラザル国益ニモ有之旁、速ニ何分ノ御裁決相成度、尤曩ニ那珂川、蛇尾川、両川疏水工事費、総額十四万円余御支出ノ事ニ請求候得共、此際深く国費御多端ノ儀ヲ相憚リ、先以テ、総額ノ内、金四万円ヲ除キ、別紙那珂川丈ノ工費、金十一万八千七百二十九円十一錢九厘ノ処ヲ、十万円ニ切詰メ、成功セシメ候予算相立候間、本年度ニ於テ、該額十万円、別途御支出相成度、若シ又本年度、御支出難相成候御都合モ有之候ハバ、十八年度ニ於テ、御渡相成様度、此段両郷協議ノ上、相伺候条、至急仰御裁可候也。

明治十八年三月二十四日

農商務卿 伯爵 松方正義

内務卿 伯爵 山県有朋

太政大臣 公爵 三条実美殿

この上申書に対して次の指令がありました。

上申之趣聞届、該金額十八年度ニ於テ下附ス可シ、

明治十八年四月一日

太政大臣 三条実美

この指令は、上申書の末尾に、朱書して下付され、ここに、那須疏水開墾が、漸く政府の受け入れるところとなりました。この聞届の指令は、政府内部の諸手続きを経て、県令に下付され、県令は提出された願書の末尾に、朱書して、四月十四日付けを以って下付されました。

第一四四五号

書面願之趣、那須疏水工事、土木局直轄之儀被聞届候条、此旨可相心得事。

明治十八年四月十四日

栃木県令 樺山資雄

田島董翁はこの指令の下付に対して「印南、矢板両人は、他年の悲願漸く達成し、欣喜雀躍手の舞い足の踏む処を知らず、或は兩人相抱いて、声を挙げて嬉し泣きに泣いたかも知れない。なお工事は、願の通り内務省土木局の直轄となり、同局疏水掛内務権少書記官南一郎平が、総監督に定められた。印南、矢板は、心晴れやかに、足も軽く、那須野が原のためには、この上もない好いみやげを持って、四月十三日帰社したのであった。」と記しています。(以下次号)

## 西那須野幼稚園だより

学校法人 西那須野学園 西那須野幼稚園

理事長・園長 福本光夫

オハイオに戻って見たけど、私の街はもうなくなっていた」

「冒頭の文は、「われらの子ども(ロバート・D・パットナム 創元社 2017)」第一章の文頭に記されています。そして、「私のふるさとは、1950年代にはアメリカンドリームをまざまざには体現していたところで、街のあらゆる子どもたちはその出自によらず、一定の機会が提供できていた場所だった。しかし、半世紀後には、このオハイオ州ポートクリントンでの暮らしは、二面分割の「アメリカの悪夢」となってしまったP9)。と綴られています。アメリカは「アメリカン・ドリーム」という誰にでも機会が平等にあり熱意と努力して成功出来る夢の国から「アメリカン・ナイトメア(悪夢)」の国になり、貧困の格差・機会の格差が大きい国に変化してきたということです。また、このことについて、G・エスピノー＝アンデルセンも「平等と効率の福祉革命(岩波書店2011年)」のなかで、アメリカでは教育年限が短い父親の子どもは教育年限が短いという状態が50年間は続いており、富裕層と貧困二極化傾向の社会的相続をしていおり、子どもたちのライフチャンスが平等でないことを根拠に基づき報告しています。これを解消する為には、「私の子ども」から「われらの子ども」という意識改革をする必要があります。

さて、これはアメリカだけの問題でしょうか?日本の子どもたちも相対的貧困率で6人に1人から7人に1人の子どもが貧困と若干改善されたものの格差が大きいことには変わりません。子どものライフチャンスの

不平等は、高齢者の貧困へと繋がるものと言われていきます。日本財団の推計によると、子どもの貧困やライフチャンスの不平等により国の収入も1.1兆円減るとしています。本園は幼稚園、わんぱく保育、放課後児童クラブ、ちびっ子クラブ、児童発達支援センター「シャローム」、こひつじ保育園、リリールーム、那須YMCAと協働している「サタデークラブ」と多様なアプローチを通して、子どもたちの幸せな現在と輝かしい未来のために努力しています。

しかし、出来ることは僅かです。子ども時代家庭的に困難のなかにあっても、ライフ・チャンスを活かし貧困の世代連鎖を止めた人たちも多くおられます。アメリカのある当事者研究によると、家庭的には貧困などの困難を抱えている子どもたちであっても、地域の善いサポートがあれば貧困の連鎖はくい止められるというものです。具体的には、青少年が住んでいる地域において、善い助言者、教会、援助グループ等と出会うことです。YMCAは地域のサポーター、子どもたちのメンター(助言者)として創立以来地域の青少年のために奉仕されてきました。これからも全ての世代のためにさらなる働きが期待されているところです。

## 社会福祉法人 エルム福祉会だより

エルム福祉会 hikari no café 蜂巢小珈琲店  
施設長 川上聖子

「地域のヒカリとなり、福祉のヒカリとなる」

これは、エルム福祉会のビジョンです。利用者様には、障がいがあっても力強く、堂々と地域の中で生きてもらいたい。また、常に光を放つ存在であってほしいと願っています。そして、一生懸命輝く(働く)姿を見せることで、地域の人たちの障がい者に対する意識を変えていくことが出来ると信じています。

財団法人エルム会のスタートから、ずっと所得補償に重きを置き、「働いて、自分で稼げる人になろう。もらう人からあげる人になろう。あげる者がなければせめて笑顔をあげようよ。神様に喜べる人になろう。」というスローガンは今もエルム福祉会の基本方針となっています。

障がいのあるなしに関わらず、神様から頂いている賜物を存分に発揮して、生きる喜びを分かち合いたい。そして、私たちは、誰もが地域社会の一員として安心して暮らし、生きがいをもって活動できるユニバーサル社会を築くことを目指しています。

「hikari no café 蜂巢小珈琲店」がオープンして1年がたち、スタッフ(利用者様)も職員も本当に成長しました。初めて障がいのある方と一緒に働く職員が多

くいました。スタッフの支援で大変なことも多々ありますが、皆一生懸命スタッフを理解し、支援し、今では素晴らしいチームになっていると嬉しく思っています。

♪時を超えて君を愛せるか ほんとうに君を守れるか  
空を見て考えてた 君のために 今何が出来るか  
忘れないで どんな時も きっとそばにいるから  
そのために僕は この場所で

同じ風に吹かれて 同じ時を生きているんだ

小田和正さんの「たしかなこと」の詩です。こんな思いで障がいのあるスタッフさんと一緒に仕事をしています。

お客様のアンケートにはたくさんコメントを頂き、私たちの励みになっています。また、SNSでも多くの方が発信して下さるおかげで、毎日たくさんのお客様が来店して下さり、ギャラリー利用の予約も来年の5月までいっぱい状態です。また、先日は地域の高齢者グループの招待で交流会に参加しました。代表の方の挨拶で「これからも、ずっと応援していきたい」とおっしゃっていただきました。

毎日、朝礼で、西那須野教会のみことばカレンダーの聖書の箇所を読み、祈り、そして、職員が日ごろ感じている「感動・笑顔・感謝」の出来事を輪番で発表します。それがとてもよい朝のスタートになっています。ポジティブな言葉は人を明るく、元気にするものです。

神様に喜ばれる法人として、また、神様の御心に叶った働きが出来るように、今後とも皆様のお祈りに覚えていただければ幸いです。

## YMCAだより

### 【富士登山に行ってきました！】

8/22(火)～8/24(木)で富士登山に行ってきました。知的障がいのある方と台湾からの介護実習生と共に山頂まで達成しました。今回は参加者の一人である台湾学生の感想をご紹介します。(シンインさん、南開科技大学2年生、介護福祉専攻、マイホームきよはらにて1ヶ月の実習を終える)(翻訳:荒井)

今まで高い山に登った経験の無い私が日本YMCA海外実習を通して、日本の世界文化遺産である富士山に登る機会を与えてくださりました。順調に登山ができる自信が無かったのと、二年前に富士山を自分の目で見たときの風景はとても素敵で、水墨画のような魅力があり、とても親近感を感じていたため、登山する前日の夜は、私はとても緊張し、興奮していました。登山中、登山グループの仲間同士で互いに励まし合い、

士気を高めていきましたが、頂上に近づいたところで、酸素がとても薄く、私の心拍が上がり、呼吸も上がってしまいました。私の後ろには内海さんがいつも私を励まして背中を押してくださり、また下山する時には塩澤総主事が無事に下山できるようにと手を繋いでくださるなど、自分の身体に異変が出たとしても、こうして最後までやりきることができました。私は自分でここまで成せることができたことにとっても達成感と感動を得ることができました。これはサルリーダー、塩澤総主事、内海さん、そして様々な方々の支えと助けがあったからだと思います。またこれが私の人生での



不思議でミラクルな旅の一つとなり、台湾の女性での忘れがたい経験ができた一番（一級棒；イージーバン）

のヒーローになることができました！

### 【フィリピン ナボタス・タラ村交流キャンプ2017報告】

8月16日～23日までフィリピン ナボタスタラ交流キャンプが行われました。日本からは、7名の高校生と大学生が参加し、フィリピンの若者たちと一緒にフィリピンの抱える課題を見つけたり、自分たちにできることを語り合いました。

過酷な環境のもとにいらながらも、彼らの力強さ、たくましさ、やさしさにふれ、本当の幸せとは何なのかを考えさせられるキャンプとなりました。キャンパーの一人は、「友だちができただけでなく、フィリピンに家族ができました」と最後を締めくくりました。こうした友だち、家族の輪が世界に広がり、平和な社会の一步になるように願います。

### 【とちぎYMCA・那須YMCAの9月の予定】

- ・9/2（土） サタデークラブ@西那須野幼稚園（クッキング）
- ・9/4（月） 高校生ボランティアスクール報告会
- ・9/8（金）～9/10（日）ユースボランティアリーダーズフォーラム
- ※ 今回は3名のリーダー及び1名のスタッフ（次回開催担当者）がとちぎYMCAより参加します。また、次回とはとちぎYMCAが主管で開催する予定です。
- ・9/8（金）～9/9（土）ようとう保育園お泊り保育
- ・9/9（土） サタデークラブ@西那須野幼稚園（クッキング）
- ・9/10（日） Yキッズ@鹿沼市自然体験交流セン

ター（じゃがバターとクラフト）

- ・9/16（土）～9/17（日）リレーフォーライフジャパン2017とちぎ
- ・9/16（土） わくわくトライキッズ ぶどう狩り サタデークラブ@宮崎りんご園（りんご狩り）
- ・9/23（土） 野外クラブ
- ・9/24（土） 宇都宮東YMCAバザー
- ・9/30（土） サタデークラブ@宮崎りんご園（りんご狩り）

### ユースリーダーのつぶやきコーナー

1. 名前（リーダー名） 2. 学校名 3. 出身地 4. YMCAに入ったきっかけは？ 5. 思い出に残った活動とその理由は？ 6. 今後の進路は？ 7. YMCAに一言

1. 齋藤憲翔（てんしょん）
2. 国際医療福祉大学・作業療法学科1年
3. 福島県
4. 大学の講義の時の



- 宣伝を見て子供と関わりたいと思ったから
5. 7月Yキッズの川遊び、川でグループ活動をした事で団体行動や自己主張の面でメンバーの成長を感じることができたから（単に自分が楽しかったというのもあります笑）
  6. 作業療法士
  7. これからも子供との活動を通して成長のサポートを僅かながらにさせて頂きたいと思います！これからもよろしくお願いします！

1. 稲川聖也（とと）
2. 国際医療福祉大学・薬学科1年
3. 栃木県芳賀町
4. 寮の友達からの誘いを受けて
5. 思い出に残っている活動は赤城プレキャンプです！



- YMCAのリーダー達と仲を深められたことや、貴重な体験を沢山することが出来たとです。
6. 薬剤師になること
  7. これからもよろしくお願いします